第4回

生命科学研究所 交流ミーティング

日時

2016年
5月11日 水 16:30-18:00

片平会場(本会場)：生命科学研究所プロジェクト棟1階 講義室B
青葉山会場(ビデオ中継)：生物棟 大会議室

講演1

泉 正範 博士 (ゲノム継承システム分野)

「光合成オルガネラ「葉緑体」を分解する2つのオートファジー経路」

「葉緑体」は、光合成を担い植物の成長効率を直接規定するオルガネラであるが、実は様々な局面で「分解」を受けている。例えば、季節が巡り青々とした水田が黄金色に色付く際には、葉の葉緑体が壊され、派生した栄養素が種子(食料としての米)形成に再利用される。このように作物の生産性とも密接に関わる「葉緑体の分解機構」を分子レベルから明らかにすることを目指しており、今回の交流会では、真核生物が持つ細胞内分解系オートファジーによる分解経路と、新たに発見したその役割について紹介したい。

講演2

丹羽 伸介博士 (発生ダイナミクス分野)

「線虫遺伝学を用いた神経細胞の形態形成機構の解析」

演者は微小管と微小管依存性モータータンパク質キネシンに着目して神経細胞の形態形成機構を解析している。今回のセミナーでは(1)神経細胞の軸索が分化しその長さが制御される仕組みと(2)キネシンによってシナプス小胞やミトコンドリアなどのオルガネラが輸送される仕組みについて議論する。構造生物学の知見と線虫遺伝学を組み合わせることによって何が出来るか、EMSスクリーニングやCRISPR/Cas9を用いることでどのようなことが出来るかなど、ややテクニカルなことも話したい。

●本セミナーは、研究科内の交流・将来的なコラボレーションの促進を目的に始まったものです。皆様奮ってご参加下さい。

●参加研究室・次回世話人を募集中です。詳細は世話人までお問い合わせ下さい。

世話人：

楢本悟史 (分子発生制御分野)

増口潔 (活性分子動態分野)